



原博史 & 香川大学アートプロジェクトチーム
「YAMANOKAMI」
「大壁画綾山湖水神」



山から生まれる
今日の出会い
明日のにぎわい



芸術と学びが近づく、2013年。



かがわ・山なみ芸術祭



香川大学アートプロジェクトチーム
「YAMANOKAMI」
「うねうね」



香川大学アートプロジェクトチーム
「YAMANOKAMI」
「学生カフェ」

教育学部学生を中心とした
チームYAMANOKAMIのメンバー

香

川県は県民1人あたりの美術館数が多く、香川を拠点に活動する作家も多い「現代美術の聖地」と言われています。

「かがわ・山なみ芸術祭」はこの芸術先進県の強みをふまえ、「過疎化や高齢化に悩む山間部」と「県内外の美術家」が協力して地域活性化をうながそうと企画されたアートイベント。4月から県下5エリアで順次開催されており、現在は10月19日から開催される第五期・まんのう町エリアの準備が進んでいます。

大学も積極的に参加

芸術祭を企画したのは教育学部の倉石文雄教授が理事長をつとめる「特定非営利活動法人かがわ・ものづくり学校」。学生有志も「香川大学アートプロジェクト・YAMANOKAMI(やまのかみ)」を結成して作家との共同制作や独自作品の発表、運営サポート、高松市塩江美術館にあったカフェスペース復活などに挑戦しており、香川大学の活動は地域から大きな期待と注目を集めています。

拡大する地域の輪

「限られた予算の中で、いかに人の流れを生み出すか」というチャレンジは、地域の人々にも様々な変化をもたらしました。自ら「開催者」としてイベントを立ち上げる人もいれば、現代アートの触れたことをきっかけに「鑑賞者」として瀬戸内国際芸術祭に足を延ばし、今まで関わりがなかった島との交流を始めた人もいます。地元作家は世界的な作家達から新たな刺激を受け、学生は貴重な経験によって地域活性化に貢献できる人材へと成長を続けています。「大切なのは『祭りの後』も賑わいを継続させること」と倉石教授が語る通り、アートから生まれた波紋は互いに影響しながら拡大し、地域の新たな可能性を広げているのです。

かがわ・山なみ芸術祭

スケジュール

- 三豊市 三野町エリア
4月20日(土)・21日(日)
- 高松市 牟礼町エリア
4月27日(土)～5月21日(火)
- 高松市 塩江町エリア・綾川町エリア
6月1日(土)～6月23日(日)
- まんのう町エリア
10月19日(土)～12月1日(日)